

☆千葉・第8回ふれあいコンサート—いっしょにとばそう しあわせのたね

11月11日13時、千葉市中央区中央4の県教育会館大ホール。同日11時~13時半、同区中央4の「きぼーる」1階アトリウムの2会場。

障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しもうと毎年開かれている恒例のコンサート。主催は特別支援学

校の元教諭らでつくるNPO法人「ちば特別支援教育」。

県教育会館のふれあいステージ(全席自由500円)では全盲の歌手、大嶋潤子さんが出演し「桜舞」を歌うほか、ダウン症のメンバーによる迫力あるダンスパフォーマンスなどがある。無料会場のきぼーるで開かれるまちかどステージで



昨年のふれあいコンサートから—
NPO法人ちば特別支援教育提供

は、足に障害がある人たちのハンドベルやNPO法人「カフェ・バルコニーの家」による歌と楽器演奏などが楽しめる。

両会場にゲスト出演するのは、千葉市出身でダウン症のリコーダー奏者・荒川知子さん(34)と、フルート奏者の父健秀さん、ピアノ教師の母幸子さんによるアミリーアンサンブル。アニメ映画「魔女の宅急便」より「海の見える街」ほかを演奏。また、きぼーるでは千葉大学リコーダーアンサンブルとの初のコラボレーションに挑む。

実行委員の新田江美子さんは「音楽を通して障害者への差別や偏見がなくなり、2020年東京五輪・パラリンピックでも役立ててもらえたたら」と話している。

ふれあいステージのチケットは、ちば特別支援教育のホームページからも購入できる。チケットの問い合わせは新田さん(090-5523-3669)。
【渡辺洋子】